

Press Release



2020年7月2日

コベストロジャパン株式会社

このプレスリリースは6月25日にドイツ・コベストロ社が発表したものを日本語に翻訳したもので、報道関係者各位へ参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語を優先します。原文は www.covestro.com をご参照ください。

マーカス・スタイレマン、プラスチック・ヨーロッパの新会長に就任

コベストロ CEO がヨーロッパのプラスチック工業会の リーダーに

- サステナビリティとサーキュラーエコノミーに注力

コベストロ CEO のマーカス・スタイレマンは、6月24日、ヨーロッパのプラスチック産業団体であるプラスチック・ヨーロッパ (Plastics Europe) の新会長に3年の任期で就任しました。プラスチック・ヨーロッパの抜本的な構造改革を主導したダウケミカルのハビエル・コンスタンテ氏の後任となります。スタイレマンは、サステナビリティと特にサーキュラーエコノミーに注力したいと考えています。

世界の基本理念としてのサーキュラーエコノミー

スタイレマンは、「世界が多くの課題に直面している中で、プラスチックは、持続可能な世界を構築するために必要不可欠であり、サーキュラーエコノミーを世界の新しい基本理念とするためにも必要です。そして、使用済み原料と廃棄物を別の製品の材料として再利用することが重要であって、いかなる状況であっても、プラスチックを地球環境に流出し続けるべきではありません。また、できる限り多くの分野で、プラスチックをサステナブルな資源として使用する必要があります。

このようにプラスチックを使用することで、プラスチック産業はヨーロッパのサステナブルな発展に寄与することができるのです」と述べています。

スタイレマンは、プラスチック・ヨーロッパの新会長に加え、本年3月、ドイツ化学工業協会（VCI）の副会長にも選任されています。また、スタイレマンは、欧州化学工業評議会（Cefic）の一員です。さらに、ヨーロッパでの産業界主導の組織・取組の一つである「持続可能な化学のための欧州テクノロジー・プラットフォーム」（SusChem）の会長でもあります。プラスチック・ヨーロッパは、パリ、フランクフルト、ブリュッセル、マドリッド、ミラン、ロンドンに拠点を有しており、会員企業100社によるポリマー製造量は、EU加盟27カ国、英国、スイス、トルコおよびノルウェーにおける製造量の9割以上を占めます。

コベストロ社について

コベストロ社は2019年売上高が124億ユーロの世界最大のポリマー製造企業のひとつです。主たる活動分野は、高機能ポリマー材料の生産、および日常生活の多くの分野で使用されている製品の革新的ソリューションの開発です。主要な顧客は、自動車、建築、木材加工や家具、電気・電子、スポーツ・レジャー、コスメティック、ヘルスケア、そして化学の各産業です。コベストロ社は、世界中の30拠点に生産施設があり、社員数は2019年末で約17,200人です。詳しくはこちらをご覧ください。 www.covestro.jp, Twitter: <https://twitter.com/covestro>

【この件に関するお問い合わせ先】

コベストロジャパン株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園 1-7-6 KDX 浜松町プレイス 7F

広報部 大槻 Tel:03-6403-9112 / Fax:03-3436-1540

将来予想に関する記述（Forward-Looking Statements）

このニュースリリースには、コベストロ社による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述（Forward-Looking Statements）が含まれている可能性があります。さまざまな既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因にはコベストロのウェブサイト（www.covestro.com）に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。コベストロは、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負うものではありません。